

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携 直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。（個別項目）

a.企業間の連携（燕商工会議所 つばめ物流センター地域コミュニティーへの参画
ものづくりサイトSDGs調達受注サイト運営）

b.IT実装支援（AI-OCR RPAの構築 IT人材の育成支援）

c.専門人材マッチング（経営顧問の採用で営業と商品開発支援人材採用）

2. 「振興基準」の遵守 親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法 不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行う。

②型管理などのコスト負担 契約のひな形を参考に型取引を行い、不要な型の廃棄を促進するとともに、下請事業者に対して型の無償保管要請を行いません。

③手形などの支払条件 下請代金は可能な限り現金で支払います。

④知的財産・ノウハウ 片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

⑤働き方改革等に伴うしわ寄せ 取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

⑥労務費の指針に掲げられた行動を適切にとった上で県内平均以上最高クラスを目指した取引対価を決定する。

⑦原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合に適切なコスト増加分の全額転嫁を目指す。

3. その他（任意記載）

健康経営優良法人認定 新潟県ハッピーパートナー認定

新潟SDGsアワード奨励賞受賞

令和6年4月1日

株式会社エムテートリマツ

代表取締役 鳥部一誠